

COI 特別講演会

言語・非言語コミュニケーションの脳内機構 感性イノベーションへの応用



平成 26 年

4 月 25 日 16:00 ~ 17:00
日(金) 開催

参加費
無料

講師 乾 敏郎 教授 京都大学大学院情報学研究科・認知情報学

開催場所 広島大学霞キャンパス
(広仁会館2F 大会議室)

対象 感性イノベーションに関心のある方

申込方法 下記申込みフォームからお申込みください
<http://form.hiroshima-u.ac.jp/applications/order/30>

主催 広島大学



最近われわれは、円滑なコミュニケーションが、(1) like-me システム (2) different-from-me システム、(3) 予測と自己モニタリングシステムの 3 つの機能が協調して働くことにより実現されると提案した。本講演ではまずこれらの基本機能とその脳内メカニズムについて概説する。つづいて、言語・非言語コミュニケーション機能について、ミラーシステムや情動系がどのようにかかわっているかについて考察する。最後に発達障害、特にコミュニケーション障害についての脳内機構について自身の仮説について紹介する。

講師プロフィール

大阪大学大学院基礎工学研究科修士課程修了・国際電気通信基礎技術研究所主幹研究員・京都大学文学部哲学科心理学教室助教授・京都大学文学部教授を経て、京都大学大学院情報学研究科教授 文学博士、工学修士 日本認知心理学会常務理事・日本神経心理学会理事・日本高次脳機能障害学会評議員・日本神経眼科学会評議員、日本ヒト脳機能マッピング学会運営委員・日本学術会議連携会員・言語・非言語コミュニケーション機能の認知神経科学的研究に従事・健常成人の研究のみならず発達原理の解明に向けた研究やコミュニケーション障害の脳内メカニズムに関する研究などを行っている

著書

『脳科学からみる子どもの心の育ちー認知発達のルーツをさぐる』ミネルヴァ書房、2013年
『イメージ脳』岩波書店、2009年
『階層ベイズモデルとその周辺』(共著) 岩波書店、2004年
『言語科学と関連領域』岩波書店、1998年
『Q&A でわかる脳と視覚ー人間からロボットまで』サイエンス社、1993年
『視覚情報処理の基礎』サイエンス社、1990年

訳書

『脳の学習力ー子育てと教育へのアドバイス』(共訳) 岩波書店 2006年
『認知発達と生得性ー心はどこから来るのかー』(共訳) 共立出版 1998年
『ビジョンー視覚の計算理論と脳内表現ー』(共訳) 産業図書 1987年 他 42冊



乾 敏郎 教授